

# 広報させぼ 情報カレンダー 07. 5月

※13日以前の情報の詳細は、主に前月号に掲載しています。

日	月	火	水	木	金	土	
		<b>1</b> 三川内焼はまぜん祭り ～5日	<b>2</b> 中小企業金融公庫出張相談	<b>3</b> 憲法記念日 サンセットクルーズ～6日 冒険クルーズ～6日	<b>4</b> みどりの日	<b>5</b> こどもの日 こどもの日クルーズ 春のスケッチ大会(6日予備日)	
<b>6</b>	<b>7</b> 消費生活問題講演会 早岐茶市初市～9日	<b>8</b>	<b>9</b> 佐世保市民展～13日	<b>10</b> 野鳥写真展～16日	<b>11</b> 発明相談 出前保育「みんなよっといでー」 (30日、6月5日も)	<b>12</b> 天体観望会(26日も) サンデーローズフェスティバル～27日	
<b>13</b> 母の日サンセットクルーズ ハナ子と一緒にとしょかんこどもまつり	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b> 市立総合病院の健康教室	<b>17</b> 早岐茶市中市～19日	<b>18</b>	<b>19</b> 動物獣舎探検隊(6月2日も)	
<b>20</b> さつき展示会～27日	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b> 無料出張総合相談(24、28日も)	<b>24</b>	<b>25</b> 医師による健康講話	<b>26</b> じげもん市～27日	
<b>27</b> 早岐茶市後市～29日 香りの花束作り講習会	<b>28</b> 県総合防災訓練	<b>29</b>	<b>30</b> 消費者月間街頭啓発 来春大学等卒業予定者合同企業面談会	<b>31</b> 世界禁煙デー プラネタリウム夏番組～9月10日	13日 バラ栽培管理講習会 20日 バラ苗の即売会 30日 調理講習会・幼児食(6月1日も) 31日 新所蔵品展～6月17日		
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談(13時～15時、佐世保商工会議所)	毎月第2金曜 発明相談(10時～15時、市役所商工労働課)	<b>●6月上旬の主な行事予定</b> 1日 「人権擁護委員の日」特設相談 2日 動植物園誕生祭～10日 3日 水感謝祭inさせぼ、市民大清掃、えぼしでたのし！緑祭り 7日 早岐茶市梅市～9日 10日 松の手入れ講習会					

## テレホンガイド

- 救急・火災**
  - 医療機関案内……………☎0956-23-8199
  - 火災情報……………☎0180-999-999
- エイズ・性感染症相談** (エイズ検査の予約も可)
  - 専用相談電話……………☎0120-104-783
  - Eメール……………shc783@city.sasebo.lg.jp
- 教育相談**
  - 青少年教育センター…☎0956-22-0077  
(毎月第3日曜の13時～16時には、休日教育相談を受け付けています)
- 女性相談**
  - スピカ……………☎0956-24-6180  
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)
- 消費生活相談**
  - 市消費生活センター…☎0956-22-2591  
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分～17時15分)
- 5月の健康テレホン**
  - 県保険医協会……………☎0956-23-4300  
※3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
  - 月→がんこな咳
  - 火→杖の選び方
  - 水→日本脳炎の予防接種
  - 木→蓄膿症の手術
  - 金→むし歯予防とフッ素
  - 土、日→ぼうこう腫瘍の最近の治療

## ◎人のうごき (4月1日現在)

- 総人口 254,176人 (-1,845)
- 男 119,102人 (-1,153)
- 女 135,074人 (-692)
- 世帯数 100,197世帯 (-395)

**3月中のうごき** 転入 1,994 転出 3,809  
出生 194 死亡 224

## ◎見て、聞く させぼ市政だより

- テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)  
NBC 9時25分 NIB 9時25分  
NCC11時40分 KTN11時40分
- ラジオ NBC 毎週日曜日 9時25分  
FM長崎 毎週火曜日 9時05分
- 長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

## ◎交通安全だより ～平成18年の交通事故状況～

### 「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」 (県交通安全スローガン)

昨年、市内では1,554件の交通事故が発生しました。これは、前年に比べ40件少なくなったものの、死者数は前年を5人上回る11人となっています。

県内では、交通事故死者数59人(前年比2人増)のうち、高齢者の死者数は前年よりも5人少ない30人でしたが、全国平均(43.5%)を大きく上回るなど、依然として高齢者の占める割合が高く、歩行中の死者数(24人)の約7割は65歳以上の高齢者でした。

夜間事故の死者数(29人。前年比4人増)が、全死者数の約半数を占め、最高速度違反による死者数(8人。前年比2人増)の約6割は夜間事故でした。

事故は他人事ではありません。四輪車乗車中の死者の中には、シートベルトを着用していれば助かった可能性がある人もいました。運転者、歩行者が交通ルールを守り、正しい交通マナーを習慣づけ、事故のない明るい社会を築きましょう。

●お尋ね 市役所交通安全対策課 (☎0956-24-1111)

## 歴史散歩

第502回

### 酒造の神と元水 (小舟町)

県の天然記念物に指定されているヤマフジの古木で有名な小舟町の藤山神社は、明治維新で改名されるまで山王権現宮という名称でした。祭神の一柱は大山咋神。この神さまは酒造を司り、もともとは日吉(比叡)山王と呼ばれる滋賀県比叡山の守護神。藤山神社は、延元(一三三六)年に京都嵐山の松尾大社から分霊して祀られたと伝承されています。ヤマフジの枝が寄りかかっているオガタマの木は樹齢八百年と言われる巨木で、「招ぎ霊」が語源の神木。そこから石段を上った拝殿脇に小舟川の清水が引かれ「神水、酒造の元水」と表示されています。氏子で里美町に住む大工、福田巖さんが板葺き取水場を寄贈されています。「泉のほとり 繁る菩提樹」と歌に歌われるとおり、巨木は水の豊富な土地によく育ちます。藤山神社も烏帽子岳の北麓に当たり、小舟川の清流と谷を流れる伏流水が豊富なのです。酒造の元水は、東の八天岳を越える峠で結ばれている佐賀県有田の酒



造業者が、昭和四十年代まで仕込みの時期に参拝し、元水を汲んでいました。境内に天保十(一八三九)年奉獻の石燈籠があり、篠崎利十郎の名があります。篠崎家は平戸藩時代からの酒造業で、幕末は相神浦の中心だった中里で酒造業を営んでいました。藤山神社の元宮である松尾大社の神饌所には、全国各地から奉納された酒樽が山積みされています。社殿後ろに霊泉「亀の井」があり、酒造にこの水を加えると酒が腐らないと信仰を集めました。松尾大社の分社は全国に千三百を数え、神酒として酒を尊んだ日本の心を物語っています。(筒井隆義)

